



大阪大学医学部附属病院
OSAKA UNIVERSITY HOSPITAL

総合周産期母子医療センター



先進医療と、研究と、教育と

当センターでは、産科、小児科（新生児グループ）が中心となり、胎児診断治療センター・高度救命救急センター・小児外科・心臓血管外科・脳神経外科・遺伝子診療部・麻酔科など多様な専門診療科と、臨床心理士、遺伝カウンセラー、メディカルソーシャルワーカーなど多職種で密接な医療チームを構築し、母と子の健やかな未来を脅かすリスクが生じた場合は、センターの総力をあげて迅速かつ適切な診断・治療を行いつつ、ご家族に寄り添った支援を行っています。

また、大学病院の使命として、基礎研究にも力をいれており、ダウン症患者から樹立した疾患特異的iPS細胞を用いた最先端の研究で、疾患の病態の究明と治療を目指して研究を続けています。

さらに、医学部医学科学生への教育にも力をいれており、次世代を担う人材育成を行っています。

NICU 9床 GCU 6床

2025年高度先進医療に対応する
統合診療棟オープン後は
NICU 12床 GCU 12床

